

## 第5回奈良県文化振興戦略懇話会開催概要

- 1 開催日時：令和4年3月29日（火）13：30～15：00
- 2 会場：奈良春日野国際フォーラム 薨別館 会議室5
- 3 テーマ：
  - ①奈良公園における高度な案内書について
  - ②奈良春日野国際フォーラム 薨別館の活用方法について
- 4 出席者：青柳委員、井上委員、上野委員、千田委員、長谷川委員、藪内委員、王委員、荒井知事

### 5 議事概要

懇話会は非公開で開催。

委員からの主な意見は以下とおり。

#### 【主な意見】

- ・奈良公園で、自然と「なぜ？」が芽生える鑑賞を推奨できないか。「なぜ？」を発信し続けないと異文化理解は生まれない。その心を育てる。
- ・「なぜ、奈良の歴史文化を知ることが重要なのか。」に焦点を当てる必要がある。
- ・日本と海外の比較は重要。世界を見て日本のアイデンティティを確認する。
- ・留学という概念の発祥は奈良。留学生にとっても特別なものとなり、次世代を対象とした交流が生まれるようなものとしてはどうか。
- ・従来型のガイドブックは場所に即している。人物に焦点を当て、人名辞典のような人ごとのガイド、ヒトを説明することで場所が浮かび上がってくるようなものもいいのではないか。
- ・他の分野、世界とのつながりを示すことが重要であり、それを示すものできないか。
- ・学校の先生が活用しやすいようにするのはどうか。
- ・書籍の総覧性とスマートフォンなどの必要な情報をすぐに取り得できる側面のいずれも重要。両方を組み合わせるようなコンテンツにしてはどうか。
- ・伝統的なガイドと最新の旅行形態の中間となるようなものをいかに作っていくかが重要。
- ・文化資源の本質へアプローチする道筋が、案内書である程度分かればよい。

- ・ 萱別館の活用として、歴史にかかわるものがよいと思う。
- ・ 文化財と文化施設の融合で注目される活用はできないか。
- ・ 人がたくさん集まる施設とすることが重要である。

以上